

プロジェクトリーダー：瀬戸市立図書館

事業実績調書

(1) プロジェクト名	図書館の新たな魅力創出プロジェクト
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none">・このプロジェクトでは、大学コンソーシアムせと加盟大学の学生運営委員が、若い感性を活かしたアイデアを取り入れてイベント等の企画運営を行い、他大学との交流の機会となった。また、イベントを通して高校生や地域住民との関わりが生まれ、地域社会への貢献の場となった。・初めてせと末広町商店街ニコニコ広場(春広堂書店前) でビブリオバトルを実施したことにより、書店とも協働し、地域全体の読書文化推進に寄与できた。・例年と異なり、市内書店で学生運営委員に選書をしてもらうことにより、図書館以外で本に触れる場所があることを知ってもらうきっかけを作れた。・YouTube を使ってビブリオバトルの動画公開をしたり、Instagram でビブリオバトルの宣伝を投稿したりと、各メディアを活用して図書館の新たな魅力を地域社会に PR することができた。・高校生6名が発表者として参加、更に瀬戸工科高校の放送部員が特別審査員のトークショーの司会を務めてくれ、若い力が存分に発揮された活気ある場となった。また、特別審査員の長谷部愛氏は『天気で読み解く名画』を執筆されており、書き手側の思いも知ることができた。
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>5月13日 第1回プロジェクトメンバー打ち合わせ ＜会場＞図書館 2階 ボランティア室 ＜参加者＞プロジェクトメンバー5名 ＜内容＞スケジュール、学生運営委員の活動内容、開催内容等の検討</p> <p>5月14日～6月14日 学生運営委員の募集・学生運営委員の決定 愛知工業大学2名、金城学院大学2名、名古屋学院大学2名、南山大学1名 (合計7名)</p> <p>6月22日 第1回学生運営委員会 ＜会場＞図書館 1階 集会室 ＜参加者＞学生運営委員4名、プロジェクトメンバー4名 ＜内容＞自己紹介、ビブリオバトルの概要説明、活動内容の確認</p> <p>7月20日 視察 ＜会場＞カルポート東 4階 市民ギャラリー矢田第1展示室 ＜参加者＞学生運営委員2名 ＜内容＞「東区高校生ビブリオバトル」を視察</p> <p>8月14日 第2回学生運営委員会 ＜会場＞パルティセと 4階 第2会議室 ＜参加者＞学生運営委員7名 ＜内容＞SNS を使った広報活動の方針決定、ビブリオバトルのチラシ (ポスター) のデザインの決定、ビブリオバトル記念品のデザイン決定、高校生読書活動啓発グッズのデザイン決定</p>

8月29日 発表者募集チラシの配布

＜内容＞学生運営委員がデザインしたチラシを配布

＜配布先＞市内公立高校（瀬戸高等学校、瀬戸北総合高等学校、瀬戸工科高等学校、瀬戸西高等学校）、市内私立高校（聖カピタニオ女子高等学校、聖霊高等学校）、大学コンソーシアムせと加盟大学と関わりのある高校（名古屋高等学校）、近隣公立高校（旭野高等学校、長久手高等学校、高蔵寺高等学校）、近隣私立高校（栄徳高等学校、春日丘高等学校）

9月4日 第3回学生運営委員会（選書ツアー①）

＜会場＞春広堂書店及び図書館 2階 ボランティア室

＜参加者＞学生運営委員4名

＜内容＞高校生おすすめ書籍の選書、ビブリオバトル記念品の作成、ビブリオバトル発表者との交流会の内容検討

9月6日 第3回学生運営委員会（選書ツアー②）

＜会場＞みうら書店

＜参加者＞学生運営委員2名

＜内容＞高校生おすすめ書籍の選書

9月6日 公式 Instagram「高校生ビブリオバトル大学コンソーシアムせと2024」の運用開始

＜内容＞ビブリオバトルの広報

＜運用期間＞2月28日まで

9月9日 参観者募集チラシ及び読書啓発グッズの配布

＜内容＞学生運営委員がデザインしたチラシ及び読書啓発グッズ(しおり)を配布

＜配布先＞市内公共施設、市内公立高校、市内私立高校、市立中学校、近隣公立高校、近隣私立高校、近隣図書館(愛知県、尾張旭市、日進市、長久手市、名古屋市守山・東区)、大学コンソーシアムせと加盟大学図書館

10月19日 第4回学生運営委員会

＜会場＞せと末広町商店街ニコニコ広場

＜参加者＞学生運営委員2名、ビブリオバトル発表者1名、高校教員1名

＜内容＞インタビュー打ち合わせ、当日リハーサル、ビブリオバトル発表者との交流会の内容決定

10月26日 「大学コンソーシアムせと高校生ビブリオバトル2024」

＜会場＞せと末広町商店街ニコニコ広場

＜参加者＞42名

【内訳】学生運営委員7名、プロジェクトメンバー5名、発表者6名、トークショーインタビュアー1名、事務局3名、参観者19名、特別審査員1名

＜特別審査員＞気象予報士、東京造形大学非常勤教員 長谷部愛氏

＜内容＞ビブリオバトルの実施、長谷部愛氏によるトークショー

10月26日 第2回プロジェクトメンバー打ち合わせ・第5回学生運営委員会

＜会場＞パルティせと4階マルチメディアルーム

＜参加者＞学生運営委員7名、プロジェクトメンバー5名

＜内容＞反省事項等

1 1月8日 「大学コンソーシアムせと 高校生ビブリオバトル2024」をYouTubeで動画公開
＜内容＞YouTubeチャンネル「瀬戸市立図書館」でビブリオバトルの動画及び長谷部愛
氏のトークショーを一般公開
＜公開期間＞2025年3月31日まで

2月21日 2024年度「大学コンソーシアムせと」活動成果報告会
＜会場＞瀬戸蔵4階多目的ホール
＜発表者＞学生運営委員1名
＜内容＞今年度事業の活動成果報告

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

「大学コンソーシアムせと 高校生ビブリオバトル」は、「瀬戸市子ども読書活動推進計画（第四次）」の「基本目標3：子どもの読書活動への理解と関心の普及・啓発」において「子どもの関心を高める取組」として位置付けられている。2024年度は例年より若い参観者が増えたが、まだ若年層の参加者が少ない状況である。名古屋高校以外の大学コンソーシアムせと加盟大学と関わりのある高校にも参加の呼び掛けを行うことや、市内中学生にも参加の門戸を開くなどの検討も必要と考える。

「瀬戸市立図書館の利活用計画」において情報ライブラリー（パルティせと3階）の主なターゲットを中高生、大学生、社会人としている。しかし、中高生、大学生の利用者数は少ない。2025年1月、本館のリニューアルに伴う特別臨時休館により、青少年向け図書を集架した常設のYA・ティーンズコーナーを情報ライブラリーに移動した。今後は、学生運営委員による選書本でYA・ティーンズコーナーの充実を図っていききたい。また、中高生、大学生をターゲットとした情報ライブラリー利用案内の作成などにも若い感性を活かしたアイデアを取り入れたい。

活字離れで書店が激減し、社会問題になっているが、地域の読書文化を支えていくには図書館のみならず、まちの書店の協力が必要である。今後も瀬戸市内の書店と協働してプロジェクトを行っていききたい。